

記入日：令和2年7月30日

所在地（都道府県/市町村）：長野県長野市川中島町		
法人名：社会福祉法人 花工房福祉会		
施設・事業所名：エコーンファミリー	担当者名：西澤 友里枝	
事業種類：就労継続支援B型事業		
主たる障害：知的障害	令和2年3月末現在 定員：34人	
TEL:026-283-8787	FAX:026-283-8703	Email:ecorn87@mx1.avis.ne.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<p>作業後の手洗いうがいの励行。 昼食前にテーブルと手指の消毒。 こまめな水分補給により、喉を潤す。 一時間に一回の換気。</p>

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<p>訪問販売先の中止。 例年開催されていたイベントが軒並み中止となり、出店が出来ない。 施設外就労の参加人数の制限。</p> <p>以上により生産活動、収入が減ってしまった。</p>
--

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

<p>事例タイトル：3密回避を意識した内職作業と消毒液の設置</p> <p>取り組み内容： これまでは一つの机に複数人の利用者さんが作業をしていたが、新型コロナウイルス対策のため現在は一つの机に一人の利用者さんのみを配置し、3密を避けるようにしている。また、エアコンをつけていても窓は開けっぱなしにし、常に空気が循環するようにしている。マスクの着用。 玄関先には消毒液と来訪者記録を設置し、必ず手指の消毒と記名等を行っていただいている。</p>
--

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

利用者さんによっては、人との距離の取り方が分からない人もいるため、一つの机に一人というように限定した方が利用者さんにとっても分かりやすい。

もともと内職作業は、天候等の事情や利用者さんの体調を考え、人数を制限していなかったが、コロナウイルスで3密を避けた方が良いとの事でこのような取り組みとなった。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

人数を制限したことにより、内職作業中の動きが取りやすくなった。

利用者さんの集中力も高まったように感じる。

利用者さん職員共に、手洗いうがい、手指の消毒への意識が高まった。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

机や椅子、手指をこまめに消毒するために専用の消毒液をこれまでより増やした。

マスクの備蓄を増やした。

⑦ 今後の課題・展望

全国でコロナウイルス感染者が増えている中、衛生面についてなかなか理解が難しい利用者さんに対して、徹底した感染予防をどのようにしたら良いかが課題です。



